

令和6年4月10日

共生システム理工学類 大橋弘範准教授が 2023年度日本化学会『化学教育有功賞』を受賞

本学共生システム理工学類の大橋弘範准教授が、2023年度の日本化学会化学教育有功賞を受賞しました。同賞は毎年、化学教育に対して顕著な業績や貢献などがあつた者に授与される賞で、今年で41回目の歴史のある賞です。大橋准教授の「震災復興を基軸とした中高大連携の化学教育への貢献」が評価されました。

日本化学会では、毎年いくつかの表彰を行っています。その中でも化学教育有功賞は、化学教育に従事しその組織または地域において教育上顕著な業績または功績のあつた者、もしくは独創的な着想に基づく教育や評価方法の考案によって教育上、顕著な貢献のあつた者に授与される賞で毎年3人から5人が表彰されます。

今回大橋弘範准教授の受賞テーマは「震災復興を基軸とした中高大連携の化学教育への貢献」であり、福島の震災復興を意識した化学研究を開発し、同時に中高大連携の研究のあり方を構築したことに対し、化学教育の内容とそのあり方に一石を投じた実践が評価されました。

千葉県船橋市の日本大学理工学部船橋キャンパスにて開催された日本化学会第104春季年会において、令和6年3月19日に受賞記念講演と授賞式が行われました。福島県勢の受賞は、橋爪清成教諭（現福島県立安積高等学校副校長）以来12年ぶり4人目で福島大学では初となります。



以下、授賞式当日の様子です。こちらの画像を使用されたい場合は、大橋までお問い合わせください。（画像は日本化学会から提供されています）



（お問い合わせ先）

共生システム理工学類・准教授 大橋弘範

電 話：024-548-8175

メール：h-ohashi@sss.fukushima-u.ac.jp

（実験等で研究室不在がちですので、メールに連絡いただくとありがたいです）